

産学協力研究委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第 189 委員会」
第 3 回定例会委員会議事録

日時：平成 27 年 12 月 8 日（火）15:00-17:00

場所：東京国際フォーラム ガラス棟会議室 4 階 G402 室

東京都千代田区丸の内三丁目 5 番 1 号

出席者：【敬称略】

長田 裕之(理化学研究所) 穴澤 秀治(バイオインダストリー協会)

阿部 圭一(サントリーグローバルイノベーションセンター) 井本 正哉(慶應義塾大学)

上村 大輔(神奈川大学) 遠藤正志(L S I メディエンス) 櫻井 邦弥(味の素製薬)

永野 栄喜(住友化学) 横田 博之(アステラス製薬) 菅 裕明(東京大学)

袖岡 幹子(理化学研究所) 吉田 稔(理化学研究所) 菊地 和也(大阪大学)

加藤 克也(清水代理 クミアイ化学工業) 品川 朗(第一三共 R D ノバーレ)

岡部 隆義 (東京大学) 河岸 洋和(静岡大学) 掛谷 秀昭(京都大学)

木村 禎治(エーザイ) 町谷 幸三(日本農薬) 巾下 広(小野薬品工業)

米沢 実(Meiji Seika ファルマ) 由井 慶(ファンケル) 水島 淳(日本たばこ産業)

吉田 潔充(石原産業) 舩屋 圭一(ペプチドリーム) 副島 義臣(ロート製薬)

平野 弘之(理化学研究所) 山口 直美(理化学研究所)

議事内容

(1) 前回 第 2 回定例会（平成 27 年 9 月 30 日）議事録 資料 1 の確認

(2) 「平成 27・28 年度の活動について」日程・講師候補について

○平成 27 年度 第 4 回 2016 年 3 月 2 日(水)

東京ステーションコンファレンス(調整中)

・講師候補

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター教授 宮野 悟先生

ビッグデータをテーマとした内容 (上村委員より仲介頂く)

また、候補として AMED 末松理事長が提案された。

・発表候補委員

吉田 稔 委員(学界) 内諾済

水島 淳 委員(日本たばこ産業 医薬)

横田 博之 委員(アステラス製薬 医薬)

由井 慶 委員(ファンケル 健康)

・プログラム担当 横田幹事に発表委員の内諾について協力いただくこととなった。

○平成 28 年度の開催日程

・27 年度と同様に年間開催予定をメールにて伺う

・地方開催候補

幹事会にて鈴木梅太郎の生家・縁の地 (静岡県榛原)の提案報告

近隣の研究施設見学を事務局で設定する。

○平成 29 年開催 「産学協力による国際シンポジウムの開発援助」の応募

・次回募集は、平成 28 年 5 月頃予定

国際シンポジウム企画担当委員 上村委員 井本委員 上杉委員に引き続き検討いただき、新たに横田委員に参加いただくこととなった。

(3)その他

○ 第 42 回「産学協力研究委員会委員長会議」について

穴澤副委員長より委員長会議の議事次第とプレゼン資料(資料 3)が説明された。

(各委員会とも女性委員の比率が低く次回委員長会議までに 0 の委員会はないようにする)

平成 28 年度にむけ女性委員、新たな企業委員のリクルートを考える。

候補

- ・ 櫻井 香里 特任准教授 東京農工大学工学府 生命工学専攻
東京農工大学共生科学技術研究院
- ・ 荒井 緑 准教授 千葉大学大学院薬学研究院活性構造化学

○平成 28 年度 JSPS 産学協力研究委員会特別事業

日本学術振興会の特別事業として、産学協力研究委員会の知識や技術の伝承等を取りまとめ(刊行物として発刊)に対する援助について紹介があった。(資料 4)

第 189 委員会では前ケミカルバイオロジー研究開発専門委員会よりケミカルバイオロジーに貢献した化合物について調査しており、この事業に応募して取りまとめたい。応募期日は 12 月 22 日であり、長田委員長と事務局で素案を作成し、12 月 11 日までにメールで確認する。期日までに素案に対するご指摘を取りまとめ特別事業へ応募することとなった。

研究会 15 : 20-16 : 20

1. 「新規殺ダニ剤"ピフルブミド"創製研究」
日本農薬株式会社 町谷幸三先生
2. 「抗菌薬の研究開発事情」
Meiji Seika ファルマ株式会社 米沢 実先生

特別講演 16 : 20-17 : 00

3. 「アカデミアと企業を結ぶ：TR 機構運営から学んだこと」
東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR 機構)
特任教授 加藤 益弘先生

意見交換会 17:15-18:30

研究会特別講演講師の加藤 益弘先生も参加され東京国際フォーラム ガラス棟会議室 4 階 G405 室にて意見交換会開催